

---

# 2024年3月期第2四半期 決算説明資料

2023年11月7日

---



**大末建設**

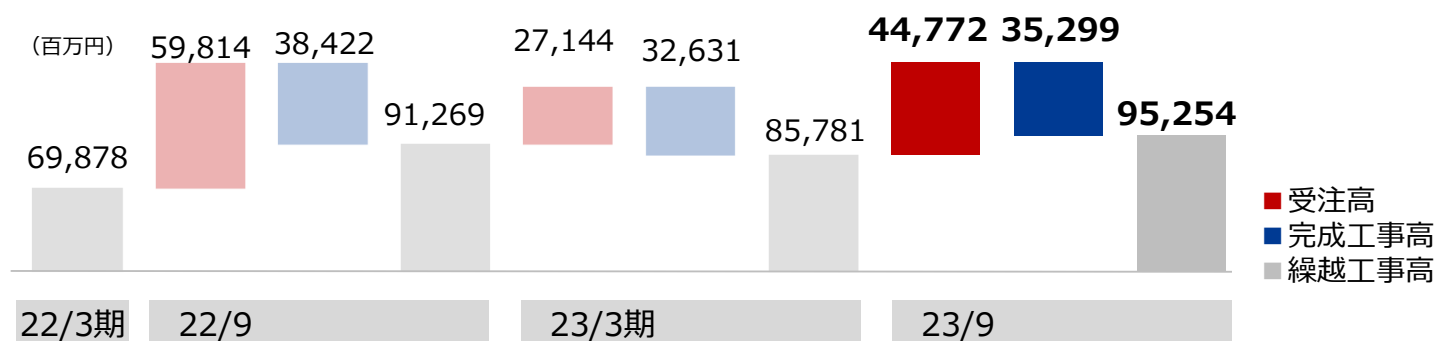
# 1.24/3期第2四半期決算サマリー

## 連結 繰越工事高

**95,254百万円** (前年度末比 +11.0%)

繰越工事高は、前年度末比11.0%増加の95,254百万円となり、高水準を維持

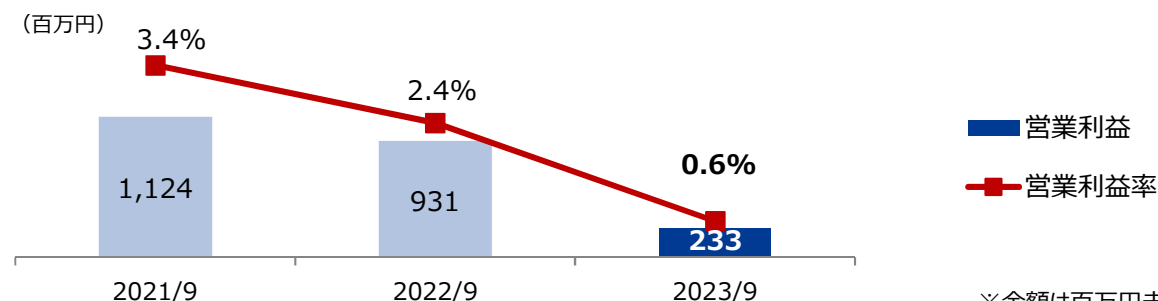
ご参考：(前期末)繰越工事高+受注高-完成工事高=(当期末)繰越工事高



## 連結 営業利益額

**233百万円** (連結営業利益率 0.6%)

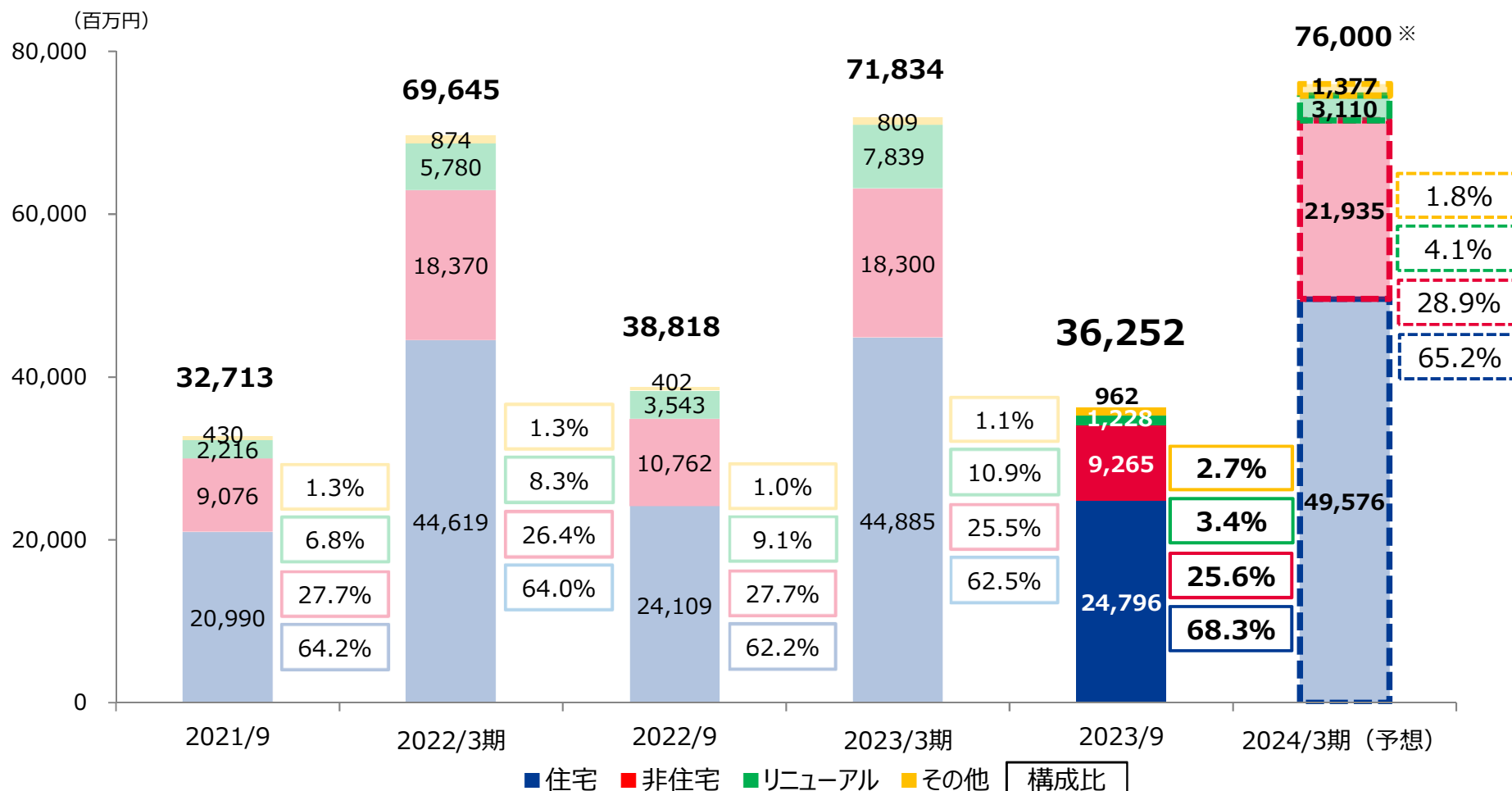
連結営業利益は、前期に受注した案件を中心に建設資材価格の高騰や労務費の上昇に対する価格転嫁が当初想定よりも進まなかったことなどにより、前年同期比74.9%減少の233百万円



※金額は百万円未満を切捨てて表示しております

## 2-1. 連結売上高推移

前年同期比6.6%減少の36,252百万円  
 当期の堅調な受注により、通期は76,000百万円を見込む



※2023年10月26日通期業績予想を修正

## 2-2.主な完成工事

### 住宅



プレサンスロジ草津グレイスコート

株式会社プレサンスコーポレーション／滋賀県



プラウド横浜阪東橋

野村不動産株式会社／神奈川県



デュオヴェール博多駅

株式会社フージャースコーポレーション／福岡県

### 非住宅



オーケー海神南店

オーケー店舗保有株式会社／千葉県



千代田区外神田三丁目PJ

大和ハウス工業株式会社／東京都



LOGI'Q湾岸習志野

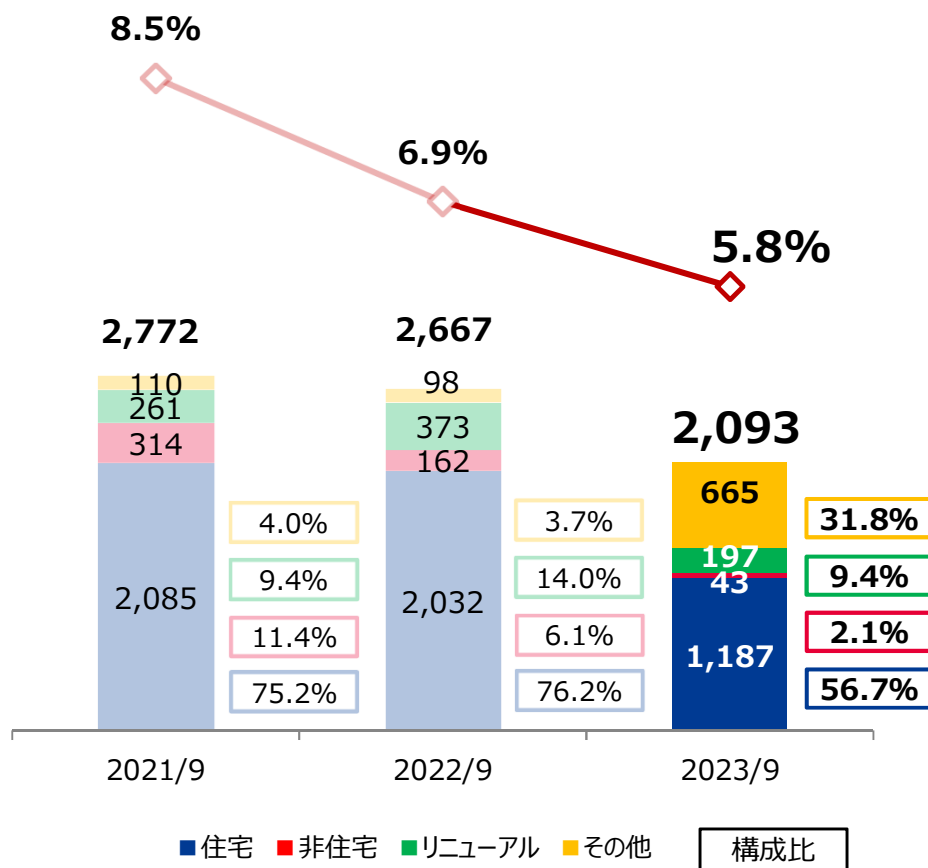
東急不動産株式会社／千葉県

# 3-1. 売上総利益推移・営業利益の増減要因

資材価格高騰に対する価格転嫁が進まなかったことなどにより、売上総利益は前年同期比21.5%減少の2,093百万円、営業利益は前年同期比74.9%減少の233百万円

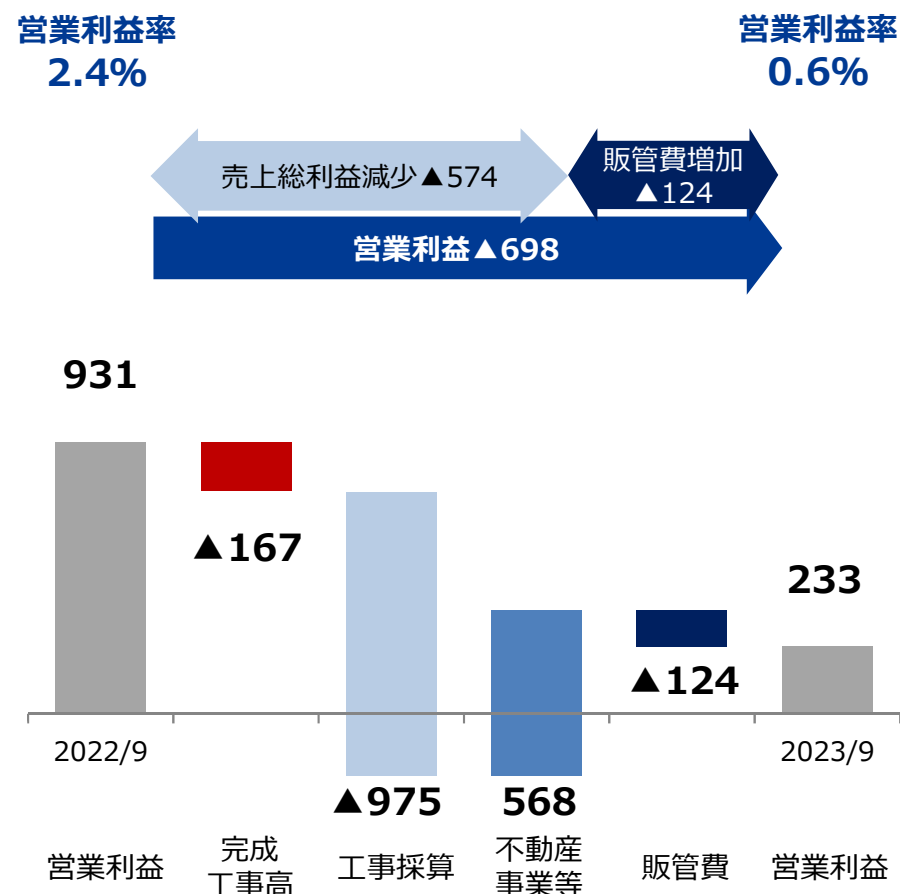
### 売上総利益推移

(百万円)



### 営業利益増減

(百万円)



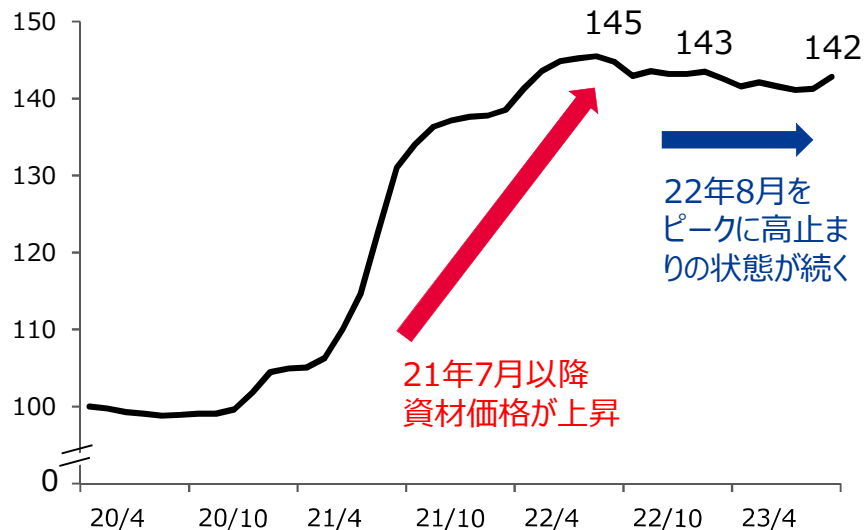
## 3-2. 利益率低下要因と改善に向けた取組

利益率の低下は、資材価格高騰に対する価格転嫁が当初想定よりも進まなかったことによるもの。足もとの受注は好調に推移しており、受注時採算も前期と比べ改善傾向。来期以降は回復の見通し

### 【低下要因】 価格転嫁の不調

- 前期以前に受注した案件を中心に、資材価格の高騰、労務単価の上昇に対する価格転嫁が想定よりも進まず、複数案件で採算が低下

建設資材価格指数（全国）※1



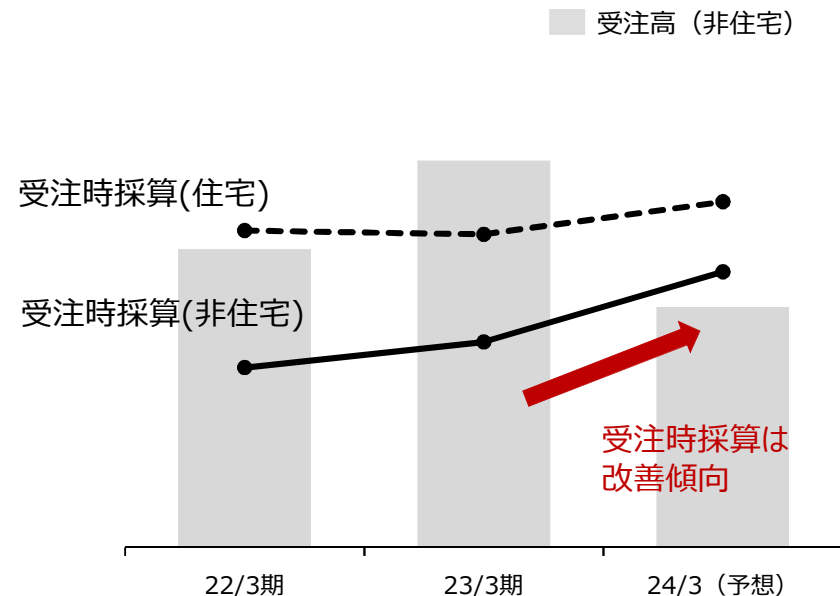
価格変動にタイムリーに対応できる体制強化（物価上昇時の価格交渉の徹底・営業DX等）を推進中

※1: 一般財団法人「経済調査会」公表データに基づき作成 2020年4月を100とし算出

### 【改善要因】 受注時採算の改善

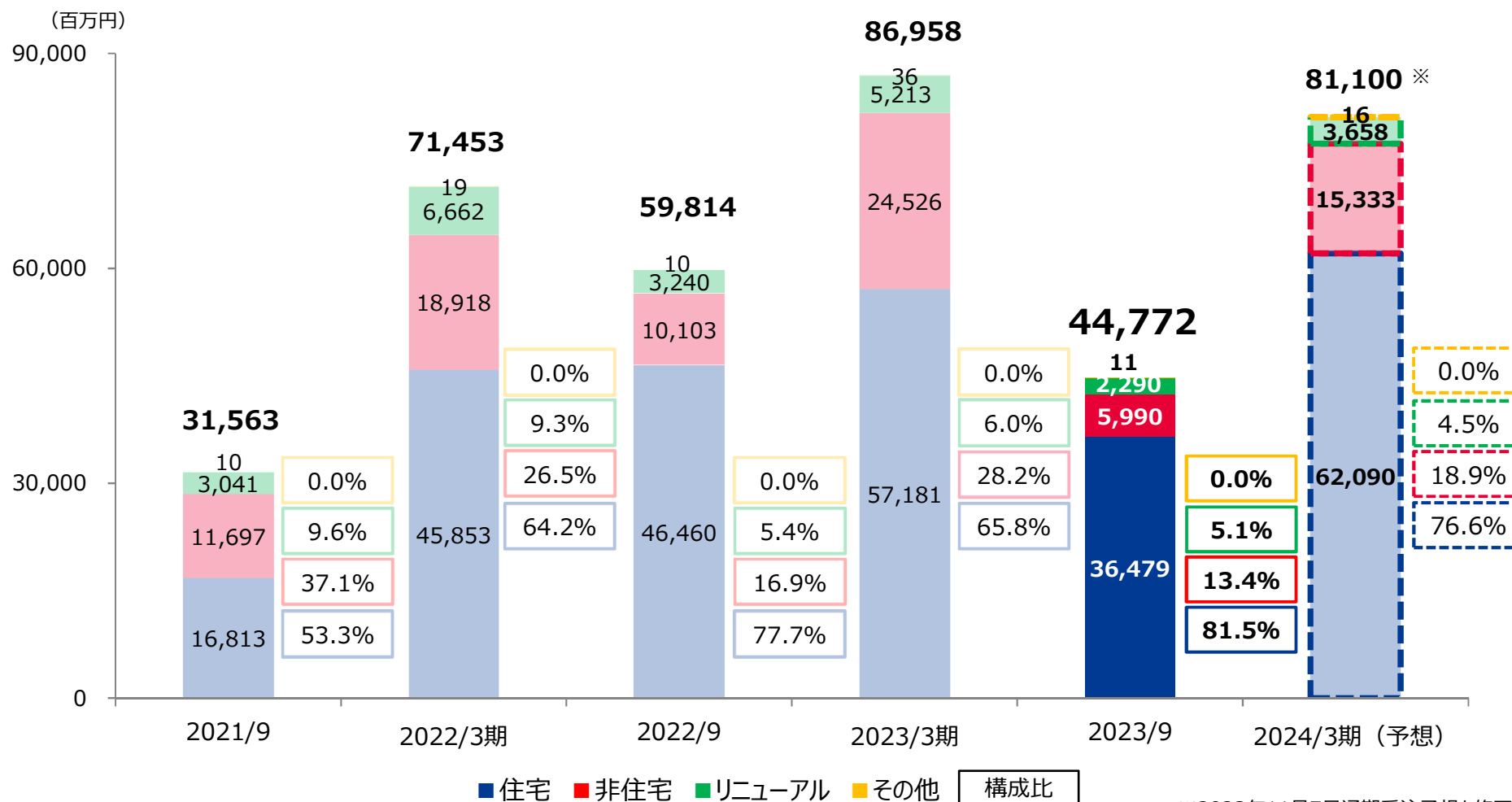
- 資材価格の高騰や労務費の上昇の影響により、受注時採算は低下も、新規案件での採算改善等により、住宅、非住宅ともに23/3期以降回復の見込み

受注高・受注時採算イメージ



# 4-1. 連結受注高推移

主力分野のマンションの受注が好調で44,772百万円を確保。通期は当初計画の77,700百万円から3,400百万円増加し、81,100百万円まで上積み

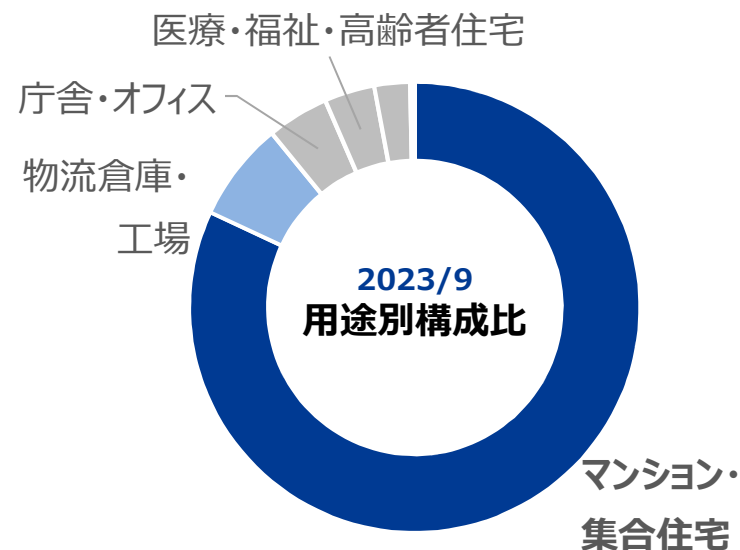


## 4-2.連結受注高内訳

**用途別** 主力分野のマンション・集合住宅が堅調  
医療・福祉・高齢者住宅が増加 (百万円)

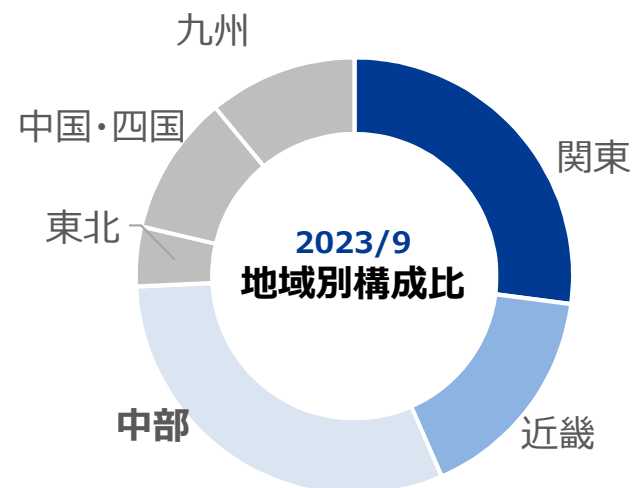
	2021/9		2022/9		2023/9	
		構成比		構成比		構成比
マンション・集合住宅	18,926	60.0%	47,121	78.8%	<b>36,681</b>	<b>82.0%</b>
物流倉庫・工場	5,712	18.1%	5,790	9.7%	3,192	7.1%
庁舎・オフィス	2,678	8.5%	1,877	3.1%	1,990	4.4%
医療・福祉・高齢者住宅	21	0.1%	179	0.3%	1,614	3.6%
商業施設	2,284	7.2%	4,049	6.8%	1,149	2.6%
教育・文化・スポーツ	1,049	3.3%	525	0.9%	74	0.2%
イベントホール	879	2.8%	248	0.4%	56	0.1%
その他	10	0.0%	20	0.0%	12	0.0%
合計	31,563	100.0%	59,814	100.0%	44,772	100.0%

※リニューアル工事は建物用途に応じて分類



**地域別** 中部エリアが大幅に増加 (百万円)

	2021/9		2022/9		2023/9	
		構成比		構成比		構成比
関東	14,533	46.1%	24,856	41.5%	12,105	27.0%
近畿	8,277	26.2%	21,642	36.2%	7,350	16.4%
中部	2,346	7.4%	5,945	9.9%	<b>13,785</b>	<b>30.8%</b>
東北	183	0.6%	2,734	4.6%	1,971	4.4%
中国・四国	3,399	10.8%	2,843	4.8%	4,643	10.4%
九州	2,823	8.9%	1,791	3.0%	4,915	11.0%
合計	31,563	100.0%	59,814	100.0%	44,772	100.0%





## 4-3.主な受注工事

発注者名	物件名（工事名）	都道府県	用途
給田北住宅マンション建替組合	給田北住宅建替計画	東京都	マンション・集合住宅
野村不動産株式会社	PMO秋葉原Ⅲ	東京都	オフィス
阪南市	阪南市立学校給食センター	大阪府	給食センター【改修】
株式会社スーパーツール	株式会社スーパーツール物流倉庫・仕上工場	大阪府	物流倉庫・工場
穴吹興産株式会社	アルファステイツ下松駅Ⅲ	山口県	マンション・集合住宅
伊藤忠都市開発株式会社	熊本住宅型有料老人ホーム	熊本県	医療・福祉・高齢者住宅

※都道府県コード順で表示しております

# 5.24/3期見通し

※2023年10月26日通期業績予想を修正

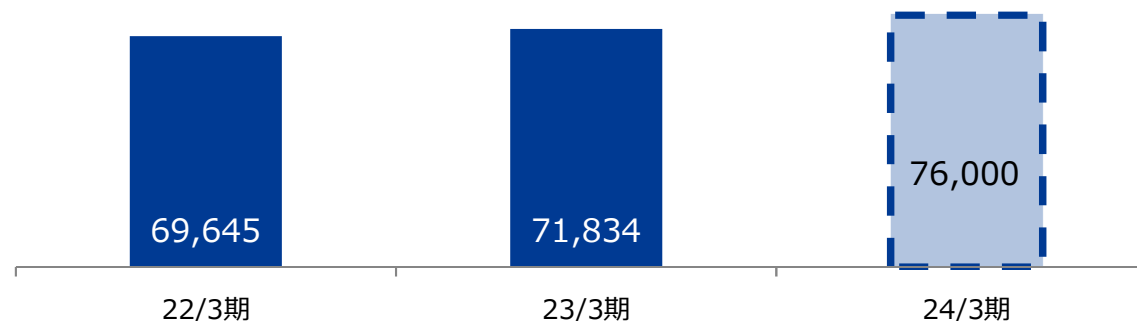


## 連結 売上高

### 76,000百万円 (前年同期比 +5.8%)

23/3期の大型案件の受注による繰越工事高が寄与し、24/3期は前年同期比5.8%増加の76,000百万円を見込む

(百万円)

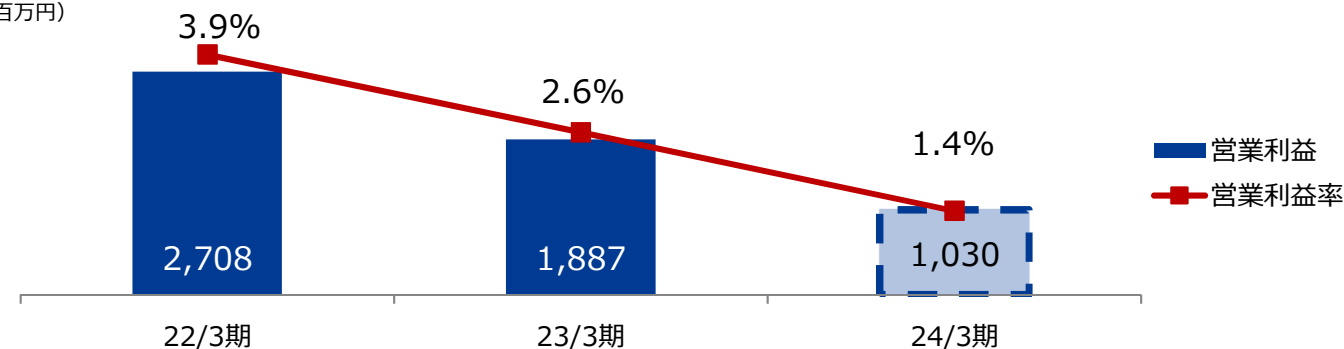


## 連結 営業利益額

### 1,030百万円 (連結営業利益率 1.4%)

建設資材価格高騰、労務の上昇に対する価格転嫁が当初想定よりも進んでいないことなどにより、前年同期比857百万円減少の1,030百万円の見込み (前年同期比 ▲45.4%)

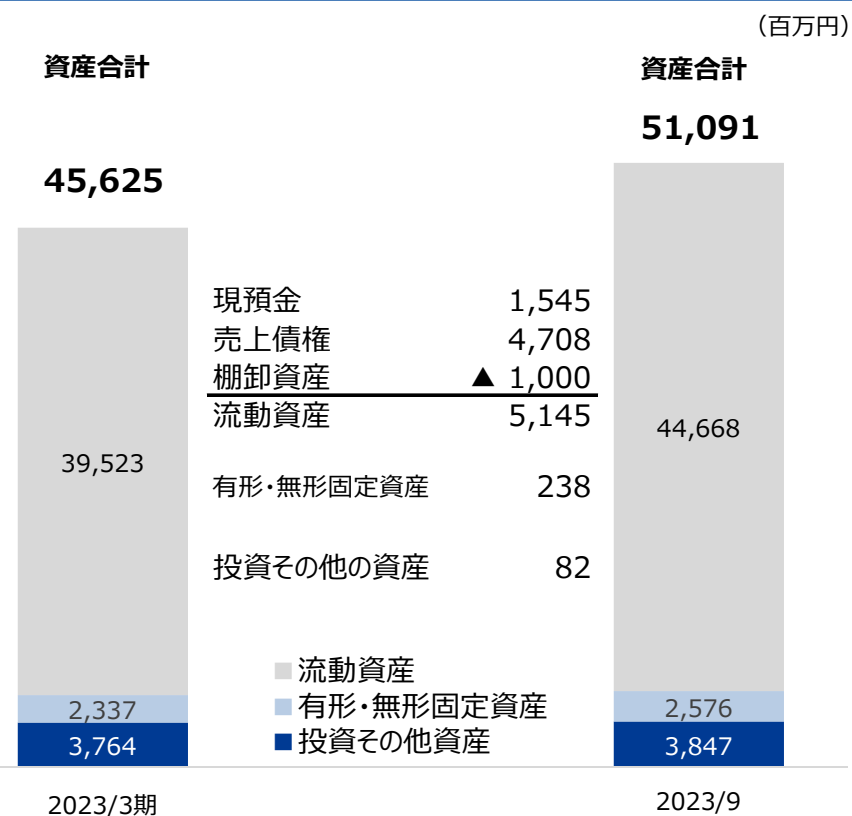
(百万円)



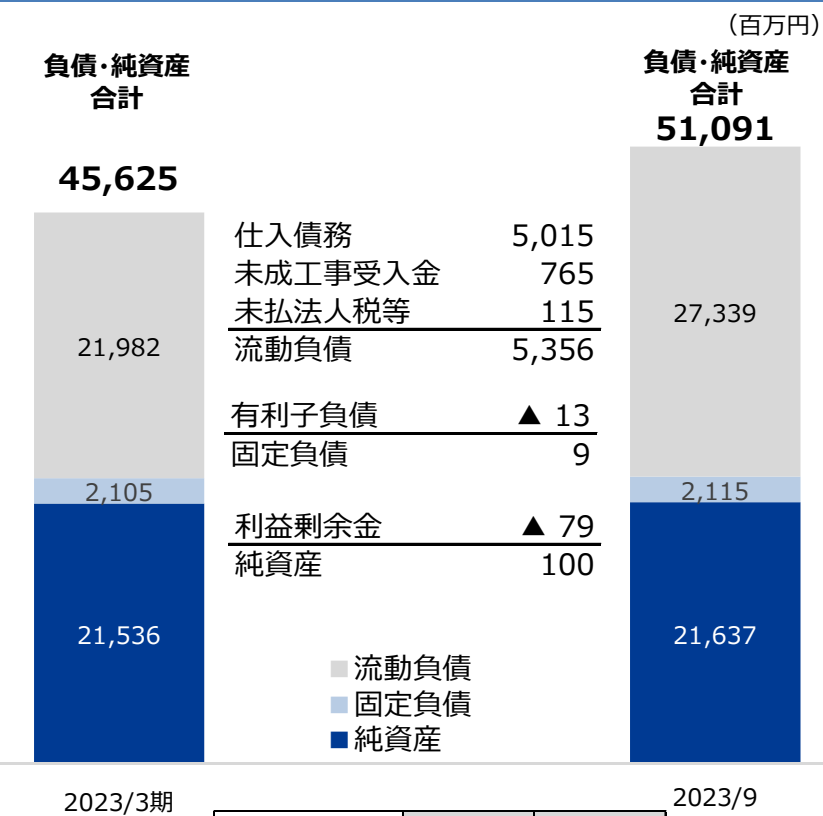
# 6.連結貸借対照表

資産の部では、主に流動資産のうち売上債権（受取手形、完成工事未収入金及び契約資産、電子記録債権）が前期比増加。負債・純資産の部では流動負債のうち仕入債務（工事未払金、電子記録債務）などが増加

## ■資産の部 +5,466



## ■負債・純資産の部 +5,466

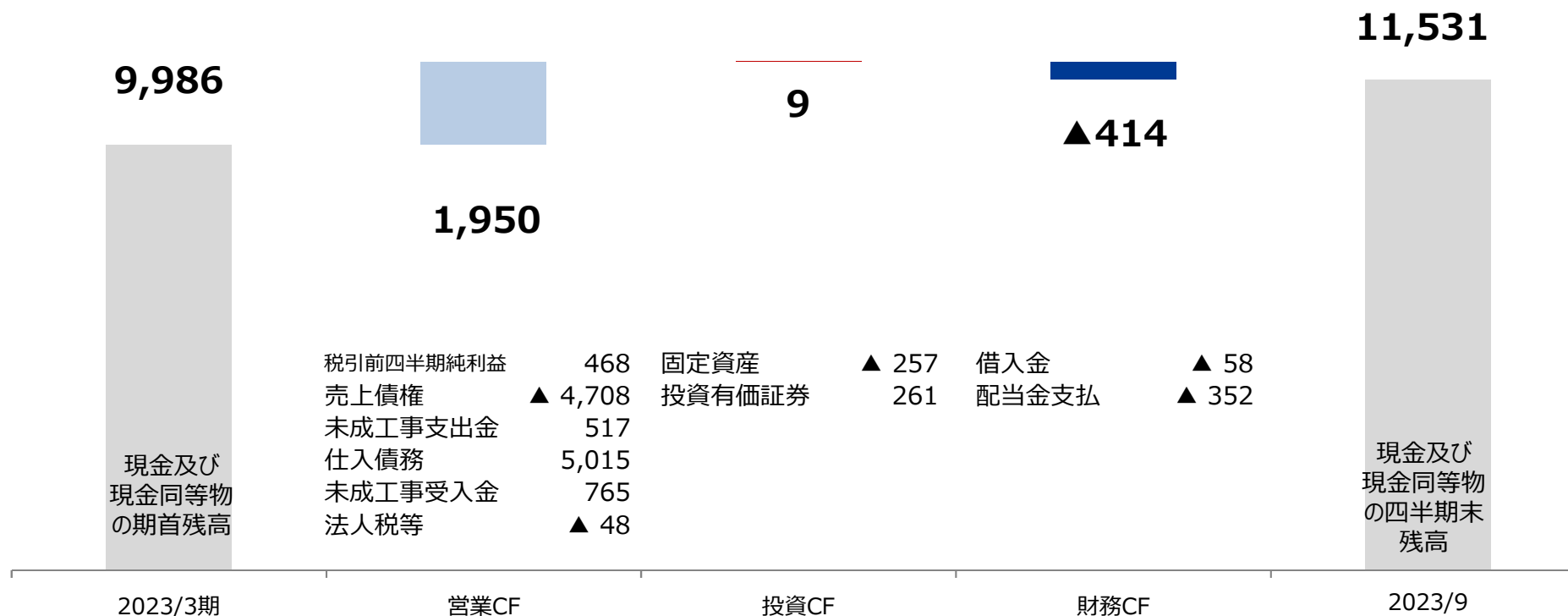


自己資本比率	2023/3期	2023/9
	47.2%	42.4%

## 7. 連結キャッシュ・フロー

現金及び現金同等物の四半期末残高は、売上債権（受取手形、完成工事未収入金及び契約資産、電子記録債権）が増加も、仕入債務（工事未払金、電子記録債務）や未成工事受入金の増加などにより、1,545百万円増加し、11,531百万円となる

(百万円)



# 8.SDGsの取組み（中期経営計画より）

分野	取組みの例	目標管理指標	SDGsターゲット	2022/9実績	2023/9実績
<b>環境問題解決</b> <b>E</b> nvironment	既設建物の長寿命化	リニューアール・リノベーション受注金額	  	28億円	20.2億円
<b>社会課題解決</b> <b>S</b> ocial	現有建造物の強靱化	耐震改修工事の受注件数	 	2件	0件
	建設技術の研究開発	新規技術開発の取組件数	 	1件	1件
	生産性向上	社員1人当たり売上高向上率 ※2020/3期実績比	  	—	—
<b>企業統治</b> <b>G</b> overnance	コンプライアンス意識向上	役職員への教育回数	 	7回	8回

# 9.株主価値向上のための取組み

成長投資、株主還元、ガバナンス強化を柱とする企業価値向上のための取組みとして、事業領域の拡大を掲げており、土木事業への再進出を目的に、今般「株式会社神島組」を子会社化。今後もM&Aを活用し事業の多角化による安定的な収益確保を目指す

## 【株式取得の背景】

成長投資のひとつとして掲げている土木事業への再進出実現のため、株式会社神島組を子会社化した。

神島組は、環境に配慮した割岩工法で振動・騒音等の公害を抑えた技術を開発し、独自かつ多彩な特許工法を強みとして、「割岩※」という特殊土木領域において高い収益力と国内での豊富な実績を有している。

神島組に対し当社の経営リソースや人的資源を投じることにより、同社の事業基盤をより強固なものとし成長を加速させていくことで、当社グループ全体で収益力を向上。神島組の子会社化を土木事業再進出の足掛かりとし、更なる土木事業の強化を目指し、企業価値を高める。

なお、2023年11月7日付で株式を取得し、当社の連結子会社となる

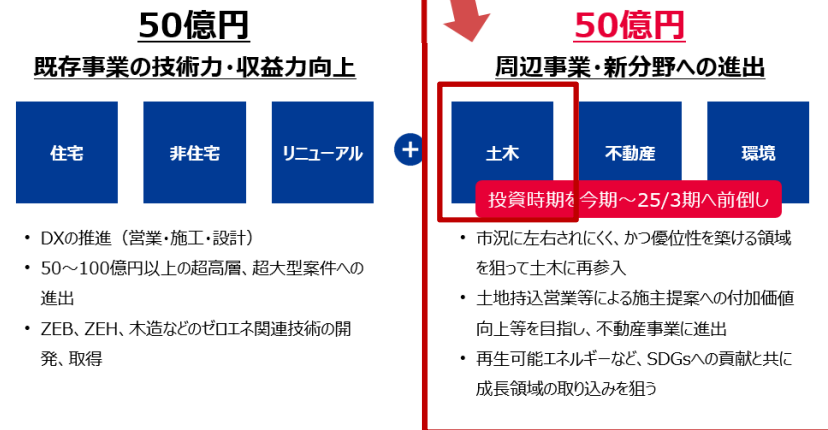
※割岩とは・・・

ダムやトンネルなどの山岳土木工事や、河床の掘削工事、山地や丘陵地での造成工事などに伴い、発生した岩盤や巨岩を特殊な技術を用いて破碎し、除去する工事のこと

## 土木事業を今後さらに強化

### 事業戦略 資本戦略 ESG 事業成長および投資方針

既存事業を支える事業基盤を強化するとともに、周辺・新分野に進出を加速させるため、中期計画より前倒しで、25/3期までに計100億円を投資



※「プライム市場上場維持基準の適合に向けた進捗状況」より

# 9.株主価値向上のための取組み

## 【株式会社神島組の概要】

名称	株式会社神島組		
所在地	兵庫県西宮市		
事業内容	土木工事業		
資本金	20百万円		
設立年月日	1952年6月6日		
最近3年間の経営成績および財政状態			
決算期	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期
純資産	1,585百万円	1,631百万円	1,922百万円
総資産	1,658百万円	1,663百万円	2,146百万円
売上高	402百万円	414百万円	944百万円
営業利益	57百万円	92百万円	515百万円
経常利益	86百万円	126百万円	591百万円
当期純利益	50百万円	65百万円	291百万円

※工法は神島組ホームページより

## ■株式会社神島組の主な独自工法



### ● スーパーかち割り君

ダントツの破砕力をもつ岩盤破砕工法  
 破壊力 21000t  
 騒音 機械から10m83db  
 振動 機械から10m55db



### ● かち割り君

防音型削孔機「静マル君」で削孔し、その孔に「かち割り君」装着の超低騒音ブレーカを挿入。間接打撃を加え、孔を押し広げ引っ張り力で破壊する  
 破砕力 4700t～6800t



### ● トリプルセリ矢

無振動・無騒音の岩盤破砕工法。  
 岩盤や転石、またコンクリートの破砕に最適。  
 破砕力 12700t～17000t

# 10.資本政策

プライム市場上場維持のため、現時点で上場維持基準の未達項目となっている流通株式時価総額の上昇は喫緊の課題であり、流通株式時価総額の向上を目的とした自己株TOB、リキャップワラントの発行を実施する。

## 【自己株TOB、リキャップワラント発行の実施】

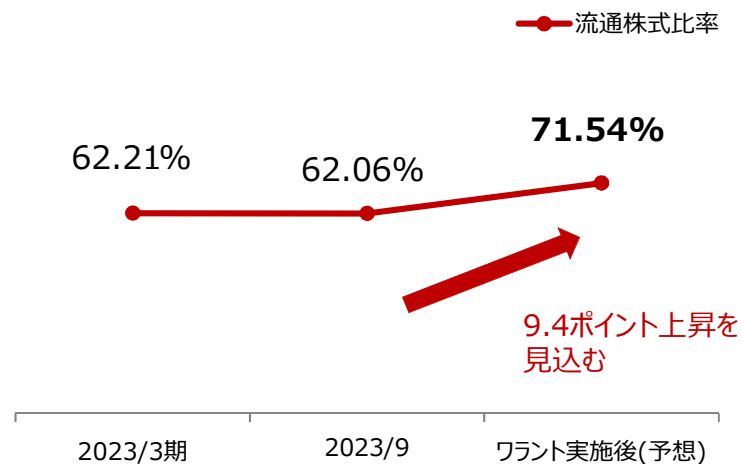
リキャップワラントの実施により、流通株としてカウントされない事業法人や銀行の保有株（固定株）を需給環境（当社株価への影響）に配慮しながら市場に供給することで、**流通株が増え、流通株式時価総額を押し上げることが期待できる。**

対象は、双日株式会社および株式会社三菱UFJ銀行の2社。ワラント発行により調達した資金は、DXを中心に成長投資として使用する予定。

### ■リキャップワラント対象の2社の状況

	保有株式数	保有比率	時価総額
双日	618千株	5.8%	5.6億円
三菱UFJ銀行	387千株	3.6%	8.9億円
合計	1,006千株	9.4%	14.6億円

※保有比率は2023年9月末時点、時価総額は2023年9月29日の株価で試算





安心と喜びあふれる空間を創造する会社



**大末建設**